



木村 清一 議員

- 1、小規模企業の振興方策を示せ
- 2、踏切改良事業を促進せよ

Q 市内の小規模事業者は将来の見通しに多くの課題と困難な状況を呈しているが、次の点の対応はいかに。
A ①小規模企業振興基本法の成立後の取組み経過は②持続化支援事業の今後の行政支援は③本市支援スキームの取り扱いは④創業支援の内容および方法は⑤地方公共団体の責

Q 務に対する取組み方針は。
A 市長 ①融資の支援のみが継続的な検討中②全部大切な施策内容と考え、内部で検討の上対策を講じたい③制度設計として各種提案の受け入れを検討したい④早急に創業支援事業計画を策定したい⑤商工会と連携し中小企業基本条例制定は必要と考える。

Q 踏切改良事業を促進せよ。集団移転先地の整備等に合わせあおい地区隣接の下小松踏切整備等、事業推進体制の整備を提案する。
A 市長 下小松踏切、第二下村松踏切の改良整備は早急な課題と捉え、急を要する五カ所全体の整備としてJRとの協議に取り組む。



▲整備求められる下小松踏切



▲一次避難所となる小学校体育館での訓練が必要



佐藤 筐子 議員

- 1、児童・生徒の安心と安全について伺う
- 2、地域再生計画について

Q 幼稚園、保育所から小中学校まで震災以降はさまざまな防災訓練がされたと思われる。先日、小学校で避難所訓練を行ったとの記事が載っていたが、次の3点について伺う①心肺蘇生術やAEDの講習は小学4年生から可能とのこと。役に立つと思われるかが②先生方に応

Q 児童・生徒の安心安全について
A 訓練のあり方を検討する
 幼稚園、保育所から小中学校まで震災以降はさまざまな防災訓練がされたと思われる。先日、小学校で避難所訓練を行ったとの記事が載っていたが、次の3点について伺う①心肺蘇生術やAEDの講習は小学4年生から可能とのこと。役に立つと思われるかが②先生方に応

A 教育長 ①学区における防災意識を高める一環として関係機関と協議調整を行い進める②学校職員への研修は水泳シーズン開始前の3時間講習を矢本消防署の協力を得て、心肺蘇生術とAEDの使用について実施。応急手当の研修は3日間を要するので難しいが工夫して進める③児童生徒の実態にあわせて情報を取捨選択して活用すると学んでいる。技術家庭では情報のセキュリティやモラルについて学んでいるが家庭との連携を一層強める。